



3年ぶりの菊陽町小中学校音楽会 ～ 最高の発表ができました! ～



11月9日(水)は、3年ぶりの音楽会が実施されました。感染症予防のため、中学校区ごとに行い、保護者の参観は「なし」となりました。(申し訳ありません)子供たちは担任の先生方の指導の下、時間をかけて準備を進めてきたのですが、間違いなく、これまでで一番いい発表ができました。いつもと違う場所、いつもと違う広さの体育館で、子供たちがどれだけ緊張せずにできるか、一番後ろでハラハラして見ていたのですが、杞憂に終わりました。一番後ろまで、子供たちの声や台詞がはっきりと届き、体全体を使って力一杯演技したり演奏したりする子供たちの姿に圧倒されました。子供たちのヘルプのために、舞台袖で聞いていた担任の先生たちもそれに気づいておられたようです。(中には、ウルッときたとおっしゃる先生もいました)他の学校の先生方からもたくさん褒めていただきましたし、地域のことに関する学びが劇によって確実に自分のものになるという感想もいただきました。今後も、せっかくの伝統をしっかりと引き継いでいかなければなりません。次は19日(土)に、鼻ぐり井手祭で発表します。今度は屋外での発表ですが、9日の経験を自信にして、よりグレードアップした発表を見せてくれると思います。



～ おひさま学級「なかよしフェスタ」の準備 ～ 地域学校協働活動推進員 内田さんに来ていただきました!

15日(火)の午後、おひさま学級の5・6年生は、12月に実施する「なかよしフェスタ」の模擬店で使うキーホルダーを作成しました。教えていただいたのは、今年も、地域学校協働活動推進員の内田早苗さんです。(いつもお世話になっています)ラメやビーズを使い、細かい作業に集中して取り組む子供たち。先生方からは、「黙々と取り組んでいました。それぞれの楽しみ方もあったようです。」というお話を聞きました。また、分からないことがあれば、積極的に内田さんに質問する姿が見られました。完成品を前に、「もっと作りたい」「家に持って帰りたい」などの声も上がり、とても楽しんでくれたようです。今後、5・6年生は、作り方を低学年の子供たちに教えることになっています。どのようにして教えるかを子供たちが考え、話し合います。このことも、とても大切なプロセスです。きっと、分かりやすい説明の方法を考え、実践してくれることと思います。「なかよしフェスタ」本番の様子もお知らせしますね。



町食育の日 ～ 持参したおにぎりで給食をいただきました ～

菊陽町幼・保等、小・中連携推進協議会の取組の一つとして、17日(木)に「おにぎりの日」を実施しました。食に関心をもち感謝する心を育てること、家族とのコミュニケーションの場づくりとすることなどを目的としています。子供たちは朝からおにぎり給食を楽しみにしていたようです。おかずは、「さつまじる、ホキ天玉揚げ、即席漬け」で、おにぎりに合いそうなものばかり。給食時間に、「おにぎりハンター」として各教室を回ると、子供たちは、それはそれは楽しそう!自分で握った子、家の人に握ってもらった子と様々でしたが、たくさんの子供が「my おにぎり」の説明をしてくれたり、おにぎり愛を語ってくれたり・・・。楽しいひとときでした。ときどきこういう日があってもいいですね。中には、5個以上持参した強者も・・・。今は、おにぎりケースやラッピングもいろいろなものがあるのですね!驚きました。塩むすびの人気の絶大ということも分かりました。保護者の皆様にはご協力ありがとうございました!おいしくいただきました。

楽しい給食になりました!

